

# はじめよう経済学 小テスト

## 第 12 講 IS-LM 分析(1)

次の問いに答えなさい。ただし、【 】内に「計算過程」と書かれている場合は計算過程を記入しなさい。

- 次の文章中の括弧内に入る適切な語句を書きなさい。また、適切な語句を選ぶ場合には、正しい語句に○を書きなさい。
  - IS 曲線とは、( 財 ) 市場を均衡させるような国民所得  $Y$  と利子率  $r$  の組み合わせを表した ( 右上がり / ○右下がり ) の曲線である。
  - 利子率  $r$  が低下すると、投資  $I$  が ( ○増加 / 減少 ) し、その結果、国民所得  $Y$  が ( ○増加 / 減少 ) する。
  - IS 曲線上では、常に ( 財 ) 市場が均衡している。
  - IS 曲線の「I」は英単語 ( Investment ) の頭文字であり、「S」は英単語 ( Savings ) の頭文字である。政府がないモデルを考えた場合、 $I = S$  が ( 財 ) 市場の均衡を表していることが IS 曲線の名称の由来である。
  - IS 曲線を右方へシフトさせるには、政府支出  $G$  を ( ○増加 / 減少 ) させる、または、( 増税 / ○減税 ) を行うといったような ( 拡張 ) 的 ( 財政 ) 政策を行えばよい。逆に、IS 曲線を左方へシフトさせるには、( 緊縮 ) 的 ( 財政 ) 政策が行えばよい。

- 45 度線分析において、 $Y = C + I + G$ ,  $C = 0.8Y + 5$ ,  $I = -2r + 10$ ,  $G = 15$  であるとき、次の問いに答えなさい。

- (1) IS 曲線の式を求めなさい。

【計算過程】

$$Y = 0.8Y + 5 - 2r + 10 + 15 \rightarrow 2r = -0.2Y + 30 \rightarrow r = -0.1Y + 15 = -\frac{1}{10}Y + 15$$
$$r = -\frac{1}{10}Y + 15$$

- (2) (1)で求めた式を用いて、利子率  $r = 3$  のときの均衡国民所得  $Y^*$  の値を求めなさい。

【計算過程】

$$r = -\frac{1}{10}Y + 15 \rightarrow 3 = -\frac{1}{10}Y + 15 \rightarrow \frac{1}{10}Y = 15 - 3 = 12 \rightarrow Y^* = 10 \cdot 12 = 120$$
$$Y^* = 120$$

- (3) 政府支出  $G$  のみが 25 へと増加した場合の IS 曲線の式を求めなさい。

【計算過程】

$$Y = 0.8Y + 5 - 2r + 10 + 25 \rightarrow 2r = -0.2Y + 40 \rightarrow r = -0.1Y + 20 = -\frac{1}{10}Y + 20$$
$$r = -\frac{1}{10}Y + 20$$